

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	教授	氏名	許 棟翰
----	---------------	----	----	----	------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

1998年3月慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。博士（商学）。専門分野は、労働経済学、人的資源管理論、労使関係論。

1998年4月から九州国際大学経済学部経済学科で「労働経済学」を担当。2008年3月から韓国明知大学経営学部経営学科で「人的資源管理論」，「労使関係論」，「経営組織論」を担当。2015年4月より本学に着任。

私の初期研究は、満足度の高い働き方と効率的な人事管理のあり方について「賃金支給システム」に焦点を当てて行われた。企業の賃金支給システムを「配分の仕方」という観点からアプローチした。

その後、働き方の変化、すなわち非正規職の増加や雇用形態の多様化によって企業内部の技能養成方式はどう変わっていくのかについて研究を続けている。雇用形態の多様化が企業内部の技能養成方式や技能伝授の様子をどう変えたのかを究明するため、日本の生産現場の調査を行っている。

いまは「これからの働き方」について、IoTの普及やAIの発達など「第4次産業革命」の影響を中心に研究を行っている。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

- ・（共著）『HRはいま、革新中』オンク（韓国），2019年。
- ・（共著）「本学学生の国際交流に関する意識調査」『福岡県立大学看護学研究紀要』第15巻，2018年3月，pp.73～82。
- ・（共著）「韓国、大邱韓医大学校における韓方医学及び看護短期研修プログラムの開発」『福岡県立大学看護学研究紀要』第16巻，2019年3月，pp.111～119。
- ・（共著）「社会福祉法人における業務支援システムの導入効果と課題」『福岡県立大学人間社会学部紀要』第28巻第1号，2019年9月，pp.51～63。

### ②その他最近の業績

<学会発表>

- ・（単独）「日本の完全雇用の実態 - 失業率と有効求人倍率のデータによる検証 -」韓国日本政経社会学会・コロキウム，韓国漢陽大学，2018年12月。
- ・（共同）「日本の障害福祉サービス事務所における業務支援システムの導入とその過程 - T社会福祉法人の事例を通じて -」韓国日本学会・第98回国際学術大会，韓国高麗大学，2019年2月。

<専門誌論稿>

- ・（単著）「第4次産業革命によるHRマネジメントの変化」『人事管理』第341号，2018年。
- ・（単著）「日本企業における役割・職務給人事管理の動向」『人材経営』Vo1. 156，2018年。
- ・（単著）「学歴と生産性、その相関関係」『人事管理』第344号，2018年。
- ・（単著）「完全雇用の虚と実」『人事管理』第347号，2018年。
- ・（単著）「デジタルHRの動向と展望」『人事管理』第349号，2018年。
- ・（単著）「働き方改革と人事管理：多様性に対応した個別管理」『人事管理』第353号，2019

年.

- ・(単著)「自動車産業の環境変化とトヨタの組織改編」『人事管理』第356号, 2019年.
- ・(単著)「働き方改革:長時間労働是正、同一労働・同一賃金原則、柔軟勤務」『人事管理』第359号, 2019年.
- ・(単著)「AI人材育成戦略」『人事管理』第362号, 2019年.
- ・(単著)「日本企業における技能継承問題、採用及び維持管理」『人事管理』第365号, 2020年.
- ・(単著)「日本企業における採用トレンド:シルカフェの事例を中心に」『人事管理』第368号, 2020年.
- ・(単著)「コロナ19が日本の採用市場に及ぼす」『人事管理』第372号, 2020年.
- ・(単著)「日本企業における仕事中心人事制度」『人事管理』第376号, 2020年.
- ・(単著)「人、労働、そして経済」『アーク』創刊号, 2020年.
- ・(単著)「出向と職員共有制度」『人事管理』第378号, 2021年.

#### <共同研究>

研究テーマ:報酬決定要因に対する沿革および事例調査

担当部分:「日本公務員の報酬決定要因」

研究期間:2020年4月~6月

研究機関:(韓国)漢陽大学産学協力団

### ③過去の主要業績

- (単著)「同一価値労働同一賃金原則と企業内男女間賃金格差の実証分析」『三田商学研究』第37巻第4号, 1994年, pp.51~67.
- (単著)「日本の雇用形態多様化と知的熟練の必要性」『Journal of Knowledge Studies』7(2), 2009年, pp.113~139.
- (単著)「自動車産業における生産方式の変化と技能伝授-NPWを中心として」『Productivity Review』27(1), 2013年, pp.313~335.

### 3. 外部研究資金

### 4. 受賞

### 5. 所属学会

日本労務学会, 日本組織学会, 韓国人事組織学会, 韓国人事管理学会(常任理事), 韓国企業経営学会, 韓国経営教育学会, 韓国生産性学会, 韓国国際地域学会, 韓国労使関係学会, 韓日経商学会, 韓国日本学会

### 6. 担当授業科目

## 7. 社会貢献活動

## 8. 学外講義・講演

### <講演>

「日本の労使関係の争点」

日時：2018年6月20日

主催：(韓国)大邱・慶北雇用福祉研究院

「朝鮮人強制動員の実情」

日時：2019年5月17日

主催：(韓国)世宗研究所

「これからの人的資源管理の在り方 - 採用戦略の今、今後の展望 - 」

日時：2020年5月13日 (第2期人材採用研究会)

主催：(株)タナベ経営

### <出前講義>

「幸せの経済学」 2018年6月15日、小倉高等学校

## 9. 附属研究所の活動等

(共同)「保健福祉分野における業務改善のための情報ネットシステム・モデル開発」

研究種別：附属研究所重点領域研究

研究代表：寺島正博

研究メンバー：石崎龍二、柴田雅博、許棟翰